






議長	局長	次長	主幹	主査
				

平成 29 年 6 月 1 日

養父市議会議長 様

議員氏名 谷 垣 満



政務活動概要報告書

政務活動の概要を下記のとおり報告いたします。

記

- 1 活動月日 平成 29 年 5 月 17,18 日 (水 , 木)
- 2 活動場所 T K P 東京八重洲 カンファレンスセンター
- 3 活動者氏名 谷垣 満
- 4 活動内容 「質問力アップ集中 4 講座」 受講  
講師：宮本正一 氏  
元 寝屋川市議会議員 (5 期 5 4 代議長)  
医学博士 / M B A 取得

1 7 日 14:00 ~ 16:30

「質問準備の効果的な方法」





効果的な一般質問を行う上で必要な、課題認識・質問順序・構築  
の手順など質問準備に関する講義

1 8 日 10:00 ~ 12:30

「議会や委員会での質疑やりとり向上研修」

議会や委員会活動において取り組むべき課題の経過確認方法や、  
具体的事例を基に質疑・質問手法に関する講義



議 長	局 長	次 長	主 幹	主 査
				

別記様式

平成 29 年 6 月 1 日

養父市議会議長 様

養父市議会議員 谷 垣 満



研修成果報告書

養父市議会議員研修要項第 7 条の規定により、下記のとおり成果を報告します。

記

- 1 研修日時 平成 29 年 5 月 17-18 日 (水・木)
- 2 研修先 TKP 東京八重洲カンファレンスセンター
- 3 研修目的 「質問力アップ 集中 4 講座」受講

4 成果 (具体的に)

主に一般質問の準備・構築に関する講義を受けた。

効果的な質問準備として①経歴から質問を作る (専門分野から裾野を広げる) ②公約から質問を作る (議員活動を行う根幹) など自身の政治理念を基にする事で「質問する事が目的」ではなく「目的達成のための質問」になる。根 (解決すべき課題)、幹 (解決にむけた方針)、葉 (具体的政策) のように課題にアプローチする策を広げていく事も一案。また議員としての立場を活用した情報収集 (ダイレクトチャンネル)、内閣府HPや総務省統計局データベースの活用など課題背景を固め、質問精度の向上を図るなど一般質問を効果的に行うことで議員としての目的達成に近づける事が大切であるとの指摘があった。また市議会議員は市民に最も近い政治家であるべきとの指摘があった。議員活動の成果が市民利益・損失に直結する。二元代表制において、提案する市長よりもさらに市民に近い立場で判断・意思決定を行わなければならない。自己研磨に努め、地域・現場を知り、課題に精通し、市民目線で政策に向きあうことでより良い判断を下せる政治家であるべきとの指摘であった。

質問は結果 (獲得目標) が大切である。具体的目標を持って質問を構築し、その質問を行う事で「市民にどのような効果が生まれるのか」を常に意識していく事が大切であると考え。今回の講義を次回の一般質問に生かしていきたい。

